



# WINGMAKERS STUDY GROUP Japan

## 8<sup>th</sup> Meeting

**07/30**  
**2022**  
Rev 1.1

©2022 Mah, WingMakers, and other excerpt.. 本資料を許可なく公開、転載、配布、複写、編集することを禁じます。

# Announce

WMSGJ

## < 会場について >

原則飲食が禁止です。

- ※水分補給は可
- ※レストランからのケータリングは可能

## < 配信について >

Teamsで配信しているデータは録画します。

録画データは、スタディグループメンバーへ期限付きで公開することがあります。

## < 新型コロナウイルス対策について >

消毒液は会場フロント1Fに常備しています。  
マスクは個人ポリシーです。



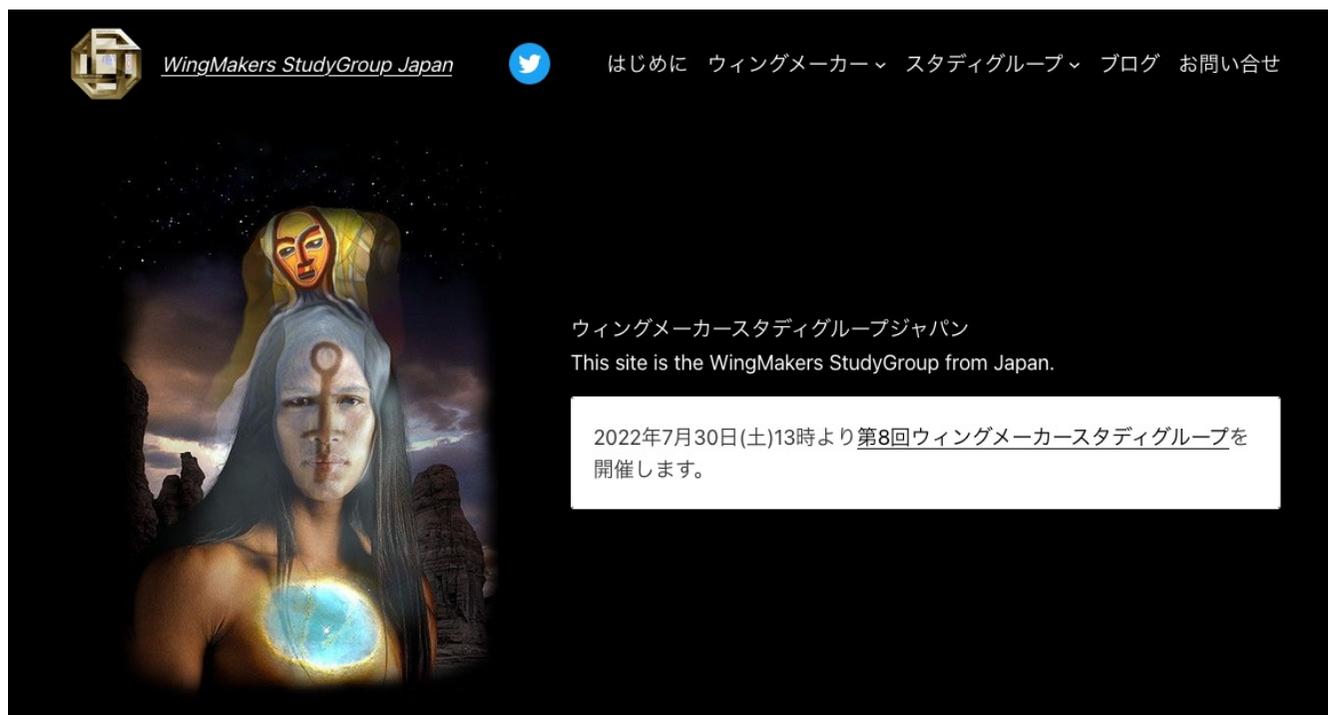
## < 休憩について >

適宜休憩をとりますが、ご希望があれば、言ってください。

# New Site Open

WMSGJ

## WingMakers StudyGroup Japan

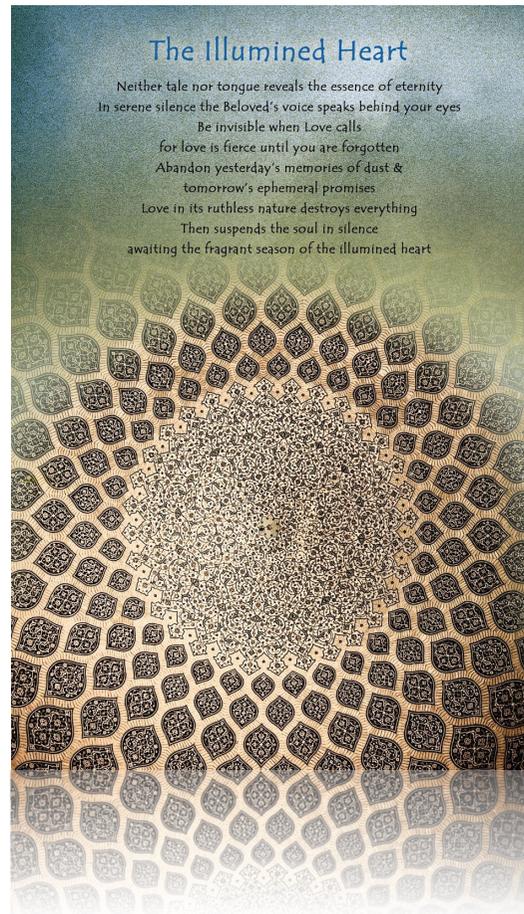


グループの名前も変更しました。

# Let's Speak

WMSGJ

自己紹介



近況等



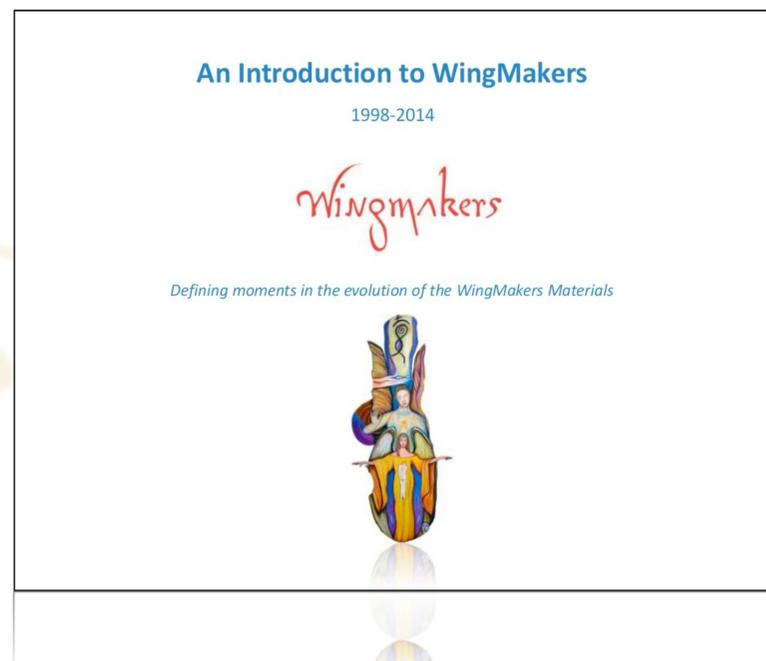
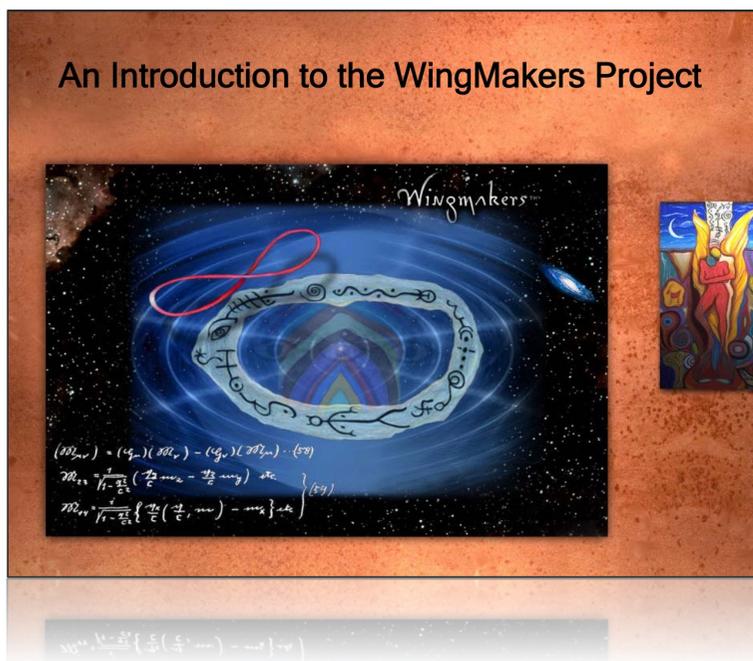
# Quantum Pause

4 × 4

Music:  
♪Logos L'appel des Ischims

# おさらい

WMSGJ



# History 2016~

WMSGJ

<https://wingmakers.com/about/history/>



# History 2016～ (1)

WMSGJ

WingMakers.comの歴史  
by マーク・ヘンペル (ウェブマネージャー)  
最初の手紙

WingMakers.comは、1998年11月に開設されました。その構成要素は、一晩のパッケージで私のもとにやってきました。私はそれを募集したわけでもなく、実際、開封したときには中に何が入っているのか見当もつきませんでした。封筒にタイプライターの手紙とCDの入った小さなケースが入っていた。手紙はとても具体的だった。

"WingMakers.com "というホームページの制作を依頼したい。この手紙に添付してある一般的なサイトマップに従って、URLの取得とサイトのデザインをしてほしい。このサイトは、できれば1998年11月1日以前に、できるだけ早く立ち上げたいと考えています。同封のCDは、4つのカテゴリーに分かれています。テキスト」「ミュージック」「アート」「フューチャー」の4種類です。フューチャーのディスクは、後日公開するために保管しておくものです（赤ラベル）。サイトマップは、青ラベルの他のディスクの内容と関連させる。"

[www.DeepL.com/Translator](http://www.DeepL.com/Translator) (無料版) で翻訳しました。

## History 2016～ (2)

WMSGJ

当時、私はとても忙しかったので、内輪で議論した後、ウェブサイトを制作することにしました。サラと私の中で何度かメールが交わされ、ウェブサイトの目標について理解を深めることができましたが、時間の制約もあり、1、2時間はアートワークに見入っていたものの、資料を勉強したり読んだりする時間は取れませんでした。アートは理解できた。ある意味、このプロジェクトに挑戦するきっかけとなったものです。

サイトを立ち上げたのは、1998年11月23日。夜遅かったのですが、メールの受信箱がいっぱいになっていくのを見たのを今でも覚えています。最初はゆっくりでしたが、最初の1週間が終わるころには、何百通ものメールが届き、しかも、それは想像しうるあらゆる方面からのものでした。牧師、NASAの職員、エンジニア、スピリチュアル系の学生、大学関係者など、あらゆる方面からメールが届いていました。その時、私はこれらの資料を読み、人々が私に質問していることを突き止めようと決心したのです。リモートビューイング、アセンション計画、ブラックプロジェクト、ETのリバースエンジニアリング、宇宙論などです。私は何かが起きていると思いました。

## History 2016～ (3)

WMSGJ

私は数日間、読書に集中しました。ドットマトリクスプリントアウトに手書きしたオリジナルのノートは、今でも持っています。中にはユーモラスなものもあった。正直なところ、当時の私にはほとんど意味のない内容でした。私はスピリチュアルな勉強家でもなければ、求道者でもなかった。私は仕事人間だった。私は結婚して小さな子供がいて、非常に、非常に忙しい。少なくとも、哲学的な内容とネルーダのインタビューは、私に多くのことを要求した。

何年もかけて、ある程度は理解できるようになりましたが、それでもまだ完全に理解しているとは言えません。ジェームズは『ウィングメーカーズ・コレクテッド・ワークス Vol.1』で次のように書いている。

"誰でも最終的には自分自身に「わからないが、可能性を熟考する」と言わなければならない。熟考することでワンネスへの道を感じ、同様に熟考しないことで分離とエゴのアイデンティティへと滑り落ちていくのです。"

# History 2016～ (4)

WMSGJ

## 初期の頃

ウイングメーカーズマテリアルを完全に理解することよりも、その熟考が重要なのでしょう。私は、ジェームズと彼にコンタクトをとった熱心な学習者たちとのやりとりを見ているうちに、これは信者や知識を求める人よりも、実践者になるためのものなのだと思うようになりました。

1998年から2001年にかけて、WingMakers.comのウェブサイトは、宣伝もせず、誰ともつながることなく、インターネット上に置かれていました。ジェームズは、まだまったく無名だった。名前さえも公表されていない。そして2001年、最初の製品「First Source」がリリースされた。これは、最初に送られてきた資料の多くと、60分の音楽が入ったマルチメディアCD-ROMだった。このFirst Sourceは、ジェームズが初めて音楽と自分のアイデンティティを表現したディスクであり、ウイングメーカーズの起爆剤のようなものでした。

2000年末、私はウイングメーカーズのウェブサイトを更新するよう依頼されましたが、そのほとんどはFirst Sourceディスクのリリースがきっかけだったと思います。私はサイトのルック&フィールを更新し、製品を注文する機能を追加しました。First Sourceという製品を注文する機能を追加し、いくつかの更新コンテンツを加えました。

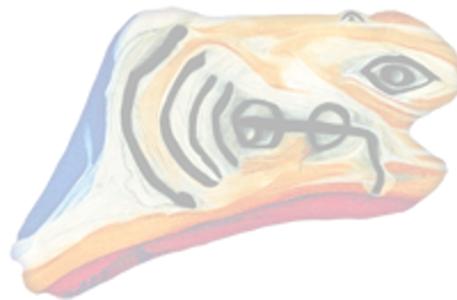
# History 2016～ (5)

WMSGJ

2003年にLyricus.orgのウェブサイトを立てよう依頼されたとき、私はウイングメーカーズの教材が、もっと大きな計画の一側面であることを理解し始めました：グランドポータルとして知られる計画、つまり人間の魂の科学的で議論の余地のない発見です。これらの教材はすべて、この大きな目的の一部であり、人間の魂を単なる信念ではなく、経験の状態として人類に伝えるというものでした。これが、リリカスの仕事だった。それは、世界的な通信網を実現した後、人類の中にこの目的を蒔くために惑星に転生する特殊作戦チームのようなものであった。

リリカスのウェブサイトでは、このように説明されている。

「ウイングメーカーズは、リリカスの神話的表現の一部であり、通常、ある種族における最初の外部表現に付随するものである。それは「コーリングカード」であり、仕える種族の間をそっと歩きながら、最初のアプローチを告げるものである。



# History 2016～ (6)

WMSGJ

## 究極の目的

この「そっと踏みしめる」というのは、「グランドポータル」のような強力なコンセプトを、深遠なウェブサイトを手静かに構築し、本を書き、音楽を奏で、印象的なシンボリズムのキャンバスを描く匿名の人物によって紹介することを意味するものである。

それは、私たち一人ひとりの中に生き、私たちを統合し、私たちの人生に新しい意味をもたらしてくれる人間の魂の存在を実証するための再現可能な方法なのです。これは、テクノロジーが人間の不可欠な側面となる（優生学、トランスヒューマニズム、バイオエンジニアリングなど）と考える人たちとは全く異なるものです。グランドポータルは、より賢く、より強く、病気に強く、長生きする人間を作るために、テクノロジーと人間という器官を統合することではありません。それは、人間の道具の中にある魂の意識を統合することであり、どの宗教を信じているか、民族、文化、遺伝、社会的地位にかかわらず、私たち一人ひとりが同じ核を持っていて、この核で私たちはつながっているという、反論の余地がない証明なのです。

ジェームズは、自分の言葉でこう書いている。

# History 2016～ (7)

WMSGJ

「ウイングメーカーズ・コレクテッド・ワークス第1巻と第2巻は、私が長年にわたって作成してきたウェブサイトにつながる資料の集合体です。これらは非常に包括的に見えるかもしれませんが、これらの資料ではグランドポータルとして知られているより大きな計画の先駆けに過ぎないと断言します。グランドポータルとは、科学と精神、人間と魂、個人と種の融合であり、人類がその魂と精神とのつながりを、単に宗教的、精神的な信仰としてではなく、科学的理解を通して発見する方法です。」

「人間の魂に関するこの反論の余地のない科学的発見は、人類の文化、科学、技術、宗教に劇的な影響を与えるだろう。多くの人々が、地球外文明の発見は私たちの社会にどのような影響を与えるのだろうかと考えてきた。世界観や宗教、さらには統治機構をどのように変えるのだろうか。しかし、もし科学が人間の魂の存在を証明し、さらにその発見を可能にしたらどうなるだろうか、というようなことを考えたことのある人はほとんどいないのではないだろうか。それが、グローバル社会にどんな影響を与えるのか.....」。

2005年から2006年にかけて、ジェームズは、より地に足の着いた「ハートで生きる」ことに焦点を当てた新しい電子ペーパーを次々と発表し始めた。それは、彼が「六つの心得」と呼ぶ、感謝、思いやり、許し、謙虚さ、理解、勇気の実践者であることをテーマとしたものだった。私はこの時、ウイングメーカーズの教材が単なる知識ベースではなく、行動ベースであることを理解しました。私は、組織が形成されるのを見たことがありません。私が知っているほとんどのスピリチュアルなフレームワークは、何かを達成するため、何か行動を起こすため、善のための大義名分となるために組織があるのです。

DeepL翻訳+手直し

# History 2016～ (8)

WMSGJ

## 長い道のり

ウィングメーカーズ・マテリアルに欠けているものがあるとすれば、それはこれでした。ジェームズは匿名で、組織もなく、グランドポータルの発見という遠大な目的以外に何もありませんでした。それは運命的に私が死んでから起こることになりました。この新しい電子ペーパーが発行されたことで、私はこれらすべてを行動に移す方法を見だし始めたのです。それは、私にとって非常に理にかなった生き方であり、さらに重要なことは、それがうまく機能することでした。私たちは、何よりもまず、エネルギー的な存在なのです。私たちのエネルギーはさまざまなものが混ざり合っていますが、そのエネルギーの主要な伝導体となるのが心と思考であり、それが最終的に行動に表れるのです。

ジェームズはこれを「行動的知性」と呼んでいる。最近では、2013年4月に行った電話インタビューで、「ロング・パス」について話していました。

「ほとんどの人は、早く報われたいと思っています。早く結果を出したい。なぜなら、テクノロジーは Siriに音声コマンドを送るか、Googleでマウスをクリックすれば、すぐに答えを教えてくれるからです。解決策を...今すぐ! 解決策が早ければ早いほど、エゴは満たされます。しかし、その解決策は、本当の意味での知恵や内なる能力をもたらすものではありません。知恵を得るためには、長い道のりに粘り強く取り組み、より深い心とより高い心が生み出す交響的な感情の指揮者になる必要があるのです。」

# History 2016～ (9)

WMSGJ

「長い道のりは、エゴの欲求に縛られている人には向いていません。なぜなら、エゴはすぐにマスターして、すぐに結果を出したいからです...そして、そのすぐに結果が他人にもたらす実際の利益は、概念や目的ではありません。エゴを本当に動かすのは、さまざまな形で現れる虚栄と魅力の報酬なのです。」

ジェームズの言うとおりでと思います。私はこの目で見てきました。私たちの文化の創造者たちは、私たちが早くものを欲しがり、たくさんのもを欲しがるように誘惑しようとし（連続獲得）。行動的知性とは、あれを信じよう、これを信じようという即効性のある道ではなく、むしろ高潔な心の表現として自分自身を行動させることを求める道なのです。

## 心と体の融合

2006年、私はWingMakers.comのウェブサイトを再び更新し、ユーザーインターフェースのルック&フィールをアップグレードし、さらにコンテンツを追加して、EventTemples.comのウェブサイトの制作に取りかかりました。この新しいウェブサイトは、リリカスとウイングメーカーズのマテリアルに新たな支流が生まれることを告げるものでした。それは、宇宙論や人生や死後の世界といった大きな問題ではなく、個人がいかにして愛を中心とした人生を築けるかという、非常に個人的な領域に関わるものでした。

# History 2016～ (10)

WMSGJ

イベントテンプルは、人々が集まり、宇宙と周波数やハートの視点を共有できる体験型サイトです。ジェームズは、"私たちのハートは、未知の世界をナビゲートする鍵である"と書いています。私は、EventTemplesはそのナビゲーションの一部であり、より集団的な規模であると考えています。

2007年にEventTemplesを立ち上げた後、次に立ち上げたウェブサイトがSovereignIntegral.comです。ジェームズの説明によると、これは来るべきものの「ラフスケッチ」のようなものだったそうです。内容的にはプレースホルダーを公開しなかったのでしょうか。

2008年初頭、EventTemplesの電子ペーパーがリリースされるのに合わせて、ハコミのCDがリリースされ始めました。2008年は、ジェームズがミネアポリスで乗り継ぎがあり、その待ち時間を私の家で過ごし、インタビューを録音することができた年でもあります。これは4月上旬のことで、インタビューは後に音声とテキストベースのトランスクリプトの両方でリリースされた。このインタビューが、ジェームズの人柄を知る最初の間だった。

# History 2016～ (11)

WMSGJ

## スピリチュアル・ノベルズ

次のサイトは、SpiritState.comである。これは非常に野心的な仕事であり、私の持っていない専門知識を導入する必要がありました。ジェームズは、ウェブ上に存在しないさまざまな機能を指定してきたので、既成概念にとらわれず、新しい機能を開発する必要がありました。2011年後半、「ドールマンの予言」と「エンシェント・アロー・プロジェクト」を最初の書籍として、スピリットステートはスタートしました。ドールマンの予言は、ジェームズの新しいスピリチュアル小説で、彼のコンテンツ開発の転機となったものです。スピリチュアル小説は、彼が新しい読者にアプローチするために使いたい新しいフォーマットであり、スピリットステートとプラネットワーク・プレス（ジェームズの出版社）は、これらの新しい書籍を提供するためのプラットフォームであったかのようです。

その1年後、小説『Quantusum』が出版された。Quantusumはドールマンの予言とはまったく異なる小説で、おそらくジェームズの作品の中で最も精神的に複雑かつ挑戦的で、非常に力強い読み物である。読者から『ドールマンの予言』の続編を望むメールをたくさんもらっていたし、小説の終わり方も続編を書くのに適していると思われたが、ジェームズは『Quantusum』に方向転換し、その後

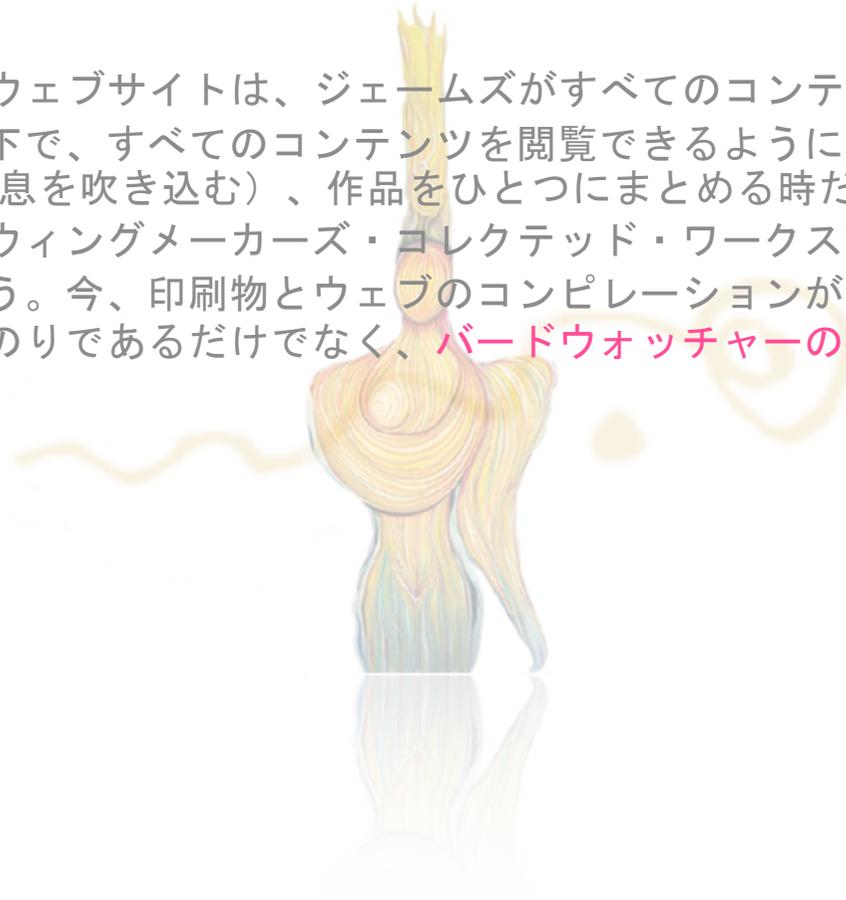
『Quantusum』の続編を求める声が寄せられるようになったのだ。次に『天気予報の作曲家(ウェザーコンポサー)』が2巻で登場した。ディストピア的な設定で、キリスト教とイスラム教の両方のルーツから宗教的なつながりが絡んでくるという意味で、またしてもジェームズのこれまでの小説とは少し違った展開となり、明らかにアクション・ペースの読み物になっていた。

# History 2016～ (12)

WMSGJ

## コンテンツの統合

現在のWingMakers.comのウェブサイトは、ジェームズがすべてのコンテンツを一カ所に集めようとしたものです。ひとつ屋根の下で、すべてのコンテンツを閲覧できるようにするためです。今こそ、彼が言うところの "In-breath"（息を吹き込む）、作品をひとつにまとめる時だと思ったのでしょうか。おそらくこれは、彼の出版社が「ウィングメーカーズ・コレクテッド・ワークス第1巻・第2巻」で行っていることと関係があるのでしょうか。今、印刷物とウェブのコンピレーションがあります。この仕事には時間をかけてください。長い道のりであるだけでなく、**バードウォッチャーのようにゆっくり、じっくりと歩むものなのだ。**



# 政治と宗教

WMSGJ

ワーク

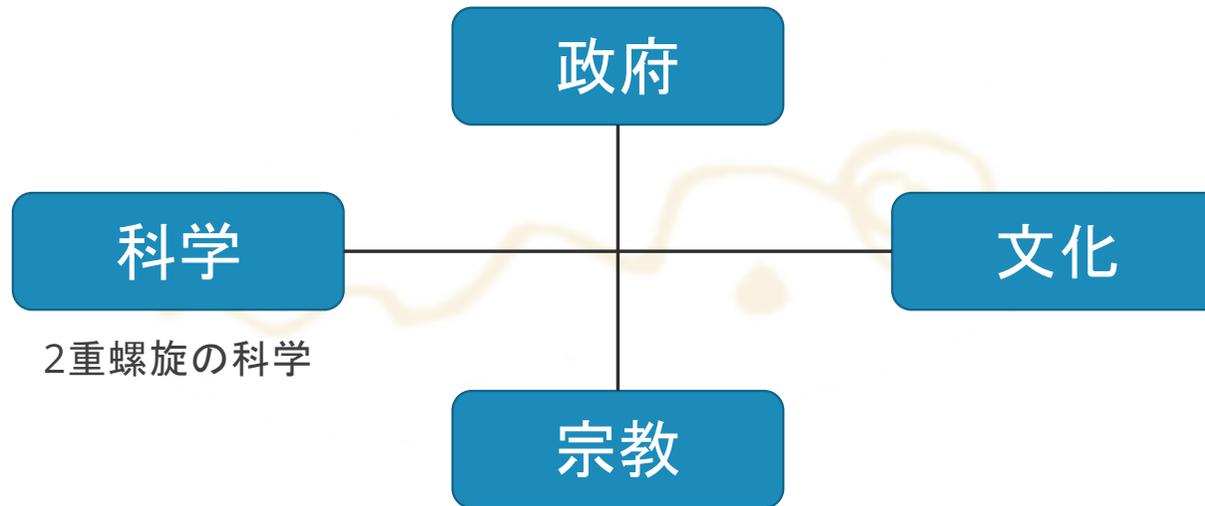
昨今、政治と宗教の癒着が問題になっています。

政治と宗教について、皆さんで考えてみましょう。

# 政治と宗教

WMSGJ

リリカスが地球上でフォーカスする4つの分野(勢力)



# 政治と宗教

WMSGJ

組織に関しては、宇宙の最大の秘密の一つは恐らく、リリカス・ティーチング・オーダーでしょう。

グランドポータルが発見されるまで、リリカスが姿を現さないことが、\*SOA (Source Organizational Alignment の項を参照のこと) の大原則なのです。

もしも、グランドポータルの発見の前にそのアイデンティティが開示されたならば、直ちに4つ全ての権力から絶え間なく攻撃されるでしょう。(リリカスの中では、4つの権力とは、政府、科学、宗教、文化から構成されていると言われています)

私たちは、経験上それを知っているのです。従って、私たちは既存の組織を通じて活動し、4つの全ての領域に影響を与えます。私は、決してこの時代に地球に転生している唯一のリリカスの代表者ではありません。私は「文化の領域」に対応している中核的存在であるかもしれませんが、私は私同様に有名でも、目に見える存在でもない他のそれぞれ3つの分野のカウンターパートとなる仲間を持っています。私たちは無名ではあるものの、グランドポータルの発見に要求される変化を促進するという自分たちのミッションを静かに展開しています。

ウィングメーカー・アンソロジー「リリカス・ティーチング・オーダー」

# 政治と宗教

WMSGJ

宗教的な勢力が、リリカスのディスクロージャーが表面化する際の最後の要素となる。これは一般的に宗教的な勢力が科学とテクノロジーの発展に反対、あるいは誤解していることを反映するものだ。宗教は、決して科学を伝えない。当然払うべき賛辞を贈ることもない。リリカスにおいては、科学は中核となる知識である。そして、ホログラフィックな真実の本当の部分——その最も純粋なレベルでの表現において、科学こそが真実の第一の局面であり、想いや感情、意見や主観の混合物アマルガムは二次的なものなのだ。

このことが、しばしば宗教的勢力に対してリリカスを破壊勢力として位置付ける。これが宗教的勢力内のリリカスのチーフ設計者が、最後に歩みでる理由なのだ——彼が出現するのは、グランド・ポータル発見の瞬間か、その直前となる。その人物が、種族の宗教を統一する存在だ。彼が、多次元リアリティの科学に基づいた集合的な信念体系へと種族の宗教を変容させるのである。

種族の全員が、この新しい“宗教”に同意するわけではない。しかし、種族の大多数が、惑星のエネルギー・グリッドのシフトを感じるだろう。主観的な宗教の領域から、多次元リアリティの科学の客観的な権威へのシフトを。そして、彼らはこのシフトと調和することを選ぶであろう。なぜならば、それを迂回するための防衛手段がないからだ

ウィングメーカー・アンソロジー「リリカス・ティーチング・オーダー」

# 政治と宗教

WMSGJ

## QUESTION 12

妨害しようとする勢力があるとするなら、どうしてグランド・ポータルが発見は、ウェブサイトを通じて“電信”されているのでしょうか？

## ANSWER 12

グランド・ポータルの意味を早い段階から受け入れる人々を引き寄せることの利点は、そのプランを妨害しようとする人々から、この“電信”によって潜在的に生じる障害よりもリリカスの戦略において遥かに勝っています。これはあらゆる種族に対してリリカスが首尾一貫して採用してきた実績のある戦略であり、そしてこの戦略は圧倒的な大成功を収めてきました。一般的に言って、4つの勢力はその発見が直前に差し迫っている瞬間までは、抵抗を強行しません。Lyricus.orgのウェブサイトが、新たな神話の頒布以上のものと見なす人々から総攻撃を受けるのは、それからなのです。

その時がきたとき、リリカスはその抵抗を吸収する十分な準備が整っており、どんなことが起ころうともそれを乗り越えて活動していくでしょう。遅れが発生するかもしれませんが、それは単なる遅れであり、永久的な障害ではありません。

ウィングメーカー・アンソロジー「リリカス・ティーチング・オーダー」

# 政治と宗教

WMSGJ

人類の成功という概念構造は、悪に対する善の勝利という単純化された概念に存しません。その代わりに、それはホールネス・ナビゲーターを発見し、その発見を世界市民と共有し、人類が独立独歩するための資質に結び付く科学的・技術的なリソースへの投資の中に存します。これは、人類が完全に協力し合って成されるものではないでしょう。現実には、それは絶対にありえません。この重大な発見の後に続くことになる変化を恐れる人々による、気力をくじく妨害効果が常に存在します。

テロリストのネットワークは、人類を統合する全ての努力を攻撃するであろうその気力をくじく効果の一側面です。そして、それは抵抗という形態だけをとるとは限らないでしょう。人類の次の3世代が出現するにつれて、このネットワークは彼らを何度も試すでしょう。そして時には、例えば\*今週見られたような残忍な効果を伴います。皮肉なことに、テロリズムは、共通の敵を一元化するための、まさしくその役割を果たします。

\*【9.11同時多発テロが起こった週】

それが北朝鮮やイラク、或いは急進的な宗教勢力のいずれであっても、その人間集団は共通する一つのものを持っています。彼らは世界市民の統一を非常に恐れています。何故なら、彼らの独自の民族性、文化、宗教的な慣習が根絶やしにされることを恐れているからなのです。その一方で、統一へと向かって奮闘している人間集団は、自分たちの文化こそが、新しいグローバル社会の礎いしずえであると信じています。これが、現代の根本的な不安なのです。

# 政治と宗教

WMSGJ

Anti-Christ

アンチキリスト

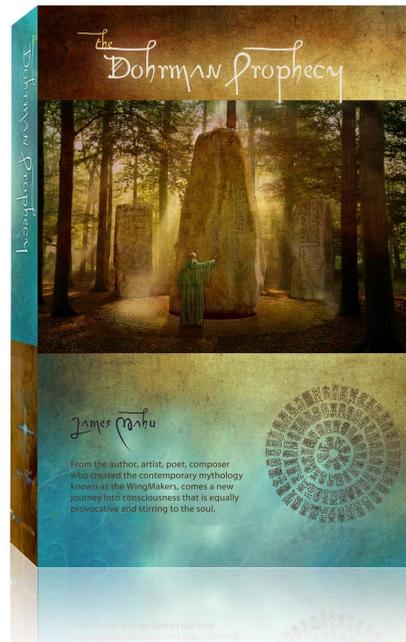
A:(略)

仮に私が反キリストとは、宗教組織であると言ったならば、それはあまりにも大雑把な説明でしょうか。私に言えることは、人類の主要な宗教組織の背後にある権力が最終的には結合し、全身全霊をもってグラウンドポータルが発見に抵抗するというだけです。これは多くの予言において予示されてきましたが、宗教の権力者たちは、それを認めようとしませんでした。この予言は宗教界で一般的に理解されていませんが、地球上の宗教活動の主要な権力中枢には権力者の内部組織が存在し、それらの個人は少なくともその予言をぼんやりと理解しています。そして、ある場合においては、21世紀において何が未来を支配するのか明瞭に理解しています。

ジェームズQ&A ウィングメーカーアンソロジー

# 政治と宗教

WMSGJ



The Dohrman Prophecy

政治と宗教のテーマが出てくるジェームズのスピリチュアルノベル

教会が預言者を独占し、人々のコントロールに寄与している様子が汲み取れる。

そして、時の政府からの独立を模索するが・・・。

# 政治と宗教

WMSGJ



議会へ



政治家の事務所

支援

選挙活動にはお金が必要。  
しかし、上限がある。



隠せない



衣食住やお金を出  
して動員



宗教法人

寄付  
(非課税)



資金力豊かつ  
世の中をコント  
ロールしたい動機  
を持つ人

# 政治と宗教

WMSGJ

ワーク

未来、人類がワンネスに生きているのであれば、  
どのような政治形態をとっているのでしょうか？

皆さんで考えてみましょう。

# LINEグループ

WMSGJ

参加者希望者にご連絡ください。



## 次回以降の予定

次回以降、Zoom開催のみとなる可能性があります。またアナウンスを行います。

- ~~第6回目 2022年1月22日(土) 13時～16時すぎ(部屋は17時まで)~~
- ~~第7回目 2022年5月28日(土) 13時～16時すぎ(部屋は17時まで)~~
- ~~第8回目 2022年7月30日(土)13時～16時すぎ(部屋は17時まで)~~
- 第9回目 2022年10月22日(土) 13時～16時すぎ(部屋は17時まで)

今回ご参加の方には、開催2週間前後を目安にLINEグループなどで連絡を送りますので、ご確認いただければ幸いです。

会場の都合などで、日程は変更になる場合があります。

私からの返信が2日以上ない場合、届いていないか、返信が正常に到着していない可能性がありますので、再送をお願いします。(別のメールアドレスから送って頂くのも効果的です。私のサイト上に返信状況を掲載する場合があります)

